

2022 新宿区 秋の文化体験プログラム

新宿区では気軽に本格的な文化芸術体験ができる
秋の文化体験プログラムを実施します
この秋、文化芸術に触れてみませんか？



寄席文字体験

～江戸の縁起文字を書く～

11月16日(水)

①15:00-16:30

②18:30-20:00

[会場] 芸能花伝舎
(西新宿6-12-30)

[定員] 各回18名

大人の紙切り

11月18日(金)

①15:00-16:30

②18:30-20:00

[会場] 芸能花伝舎
(西新宿6-12-30)

[定員] 各回15名

御朱印帳を作ろう！

11月19日(土)

13:00-16:00

[会場] 榎町地域センター
(早稲田町85)

[定員] 20名

染色～型染～

11月24日(木)

①10:00-11:00 ②11:10-12:10

③13:10-14:10 ④14:20-15:20

⑤15:30-16:30

[会場] 染の里おちあい(二葉苑)
(上落合2-3-6)

[定員] 各回6名

染色～手描友禅～

①11月27日(日)

13:00-17:00

②11月28日(月)

13:00-17:00

[会場] 東京手描友禅工房 協美
(下落合4-6-17)

[定員] 各日15名

雅楽

～千年の響きに触れる～

11月29日(火)

①15:00-16:30

②18:30-20:00

[会場] 芸能花伝舎
(西新宿6-12-30)

[定員] 各回15名

開催期間 2022年11月16日(水)～29日(火)

申込締切 10月21日(金) 必着

対象 16歳以上 参加費 100円(プログラム1回につき)

新型コロナウイルス
感染拡大予防対策

・会場では、検温、消毒、ソーシャルディスタンスの確保等対策を徹底します。
・当日37.5℃以上の発熱や体調不良のある方は参加できません。
・マスクの着用、手洗い手指消毒、咳エチケットの徹底をお願いします。

新宿区
SHINJUKU CITY

SHINJUKU
FIELD MUSEUM

リンクする、新宿アート＆カルチャー
新宿フィールドミュージアム

お問合せ

新宿区文化観光産業部文化観光課
TEL.03-5273-4069

区ホームページで詳細をご覧ください。

新宿区文化体験プログラム

主催：新宿区 制作：公益社団法人日本芸能実演家団体協議会



寄席文字体験～江戸の縁起文字を書く～

11月16日(水) ①15:00-16:30/②18:30-20:00

文字を「客席」に見立て、「筆太に墨黒々と、隙間なく詰めて書く」。寄席文字は大入り満員の願いをこめて書かれた江戸から伝わる縁起文字です。その特色と基本的な書き方を学びます。



【会場】芸能花伝舎(西新宿6-12-30)
【定員】各回18名



【講師】橋 右樂

1975年橋流寄席文字家元・橋右近に師事。1977年9月伝承者に認定され橋右樂を名乗る。落語協会、落語芸術協会、池袋演芸場の書き物等、広く筆耕活動を行う。2018年4月開席の仙台「魁知国定席・花座」では寄席行燈・看板をはじめ、席のしつらえなど制作全般に関わる。2019年NHK大河ドラマ「いだてん」では寄席の再現・劇中の寄席文字筆耕など寄席指導を担当。現在も後進の育成・指導のほか、寄席文字の普及と啓蒙にも積極的に取り組んでいる。

【講師】橋 紅樂

1998年1月橋右樂に師事。2003年11月伝承者に認定され橋紅樂を名乗る。現在、池袋演芸場ポスター類、仙台魁知国定席・花座、講談協会等の書き物、寄席芸芸家の依頼によりポスターやチラシデザイン等をはじめ、広く筆耕活動を行う。全国の小中学校での寄席文字ワークショップを通じ未来へ繋ぐ活動を続けている。



大人の紙切り

11月18日(金) ①15:00-16:30/②18:30-20:00

寄席演芸の色物の一つで日本の伝統的な芸です。鋏で紙を切り、古典的な縁起物などから動物や建造物まで、幅広い題材の様々な形を作りだします。プログラムでは実際に紙を切り、形を作る楽しさ、難しさを体験していただきます。



【会場】芸能花伝舎(西新宿6-12-30)
【定員】各回15名
【協力】公益社団法人 落語芸術協会



【講師】林家 花(紙切り師)

1995年紙切りの林家今丸に入門。大手生命保険会社のOLの傍ら修業を積み、2007年9月紙切りに専念するため落語芸術協会の前座となり、2008年9月寄席デビュー。寄席300年の歴史で初の女性紙切りとなる。現在は、寄席や落語会をはじめ、ホテルのパーティーやイベント、ワークショップ、英語でのステージ等で活動。海外公演多数。似顔絵シルエットを得意とし、さまざまな縁起物や日本の伝統的な風物等を創作している。

御朱印帳を作ろう!

11月19日(土) 13:00-16:00

本格的な御朱印帳を作ってみませんか! A本文に刷毛で糊入れを施し、Bクロスで表紙貼をし、AとBを貼合せ朱印帳の完成です。



【会場】榎町地域センター(早稲田町85)
【定員】20名



【講師】渡邊 博之(榎博勝堂相談役)

1956年生まれ。1983年より工場製本の技術を学んだ後「和綴じ」技術者となる。現在「榎博勝堂」の相談役。手作業ならではの繊細な技術に長け、天皇家のアルバムや全国の神社・寺社の朱印帳、経本など日本の伝統的な和製本を手がけ、後進への指導も積極的に行っている。2013年度新宿ものづくりマイスター「技の名匠」に認定される。

染色～型染～

11月24日(木) ①10:00-11:00/②11:10-12:10/③13:10-14:10/
④14:20-15:20/⑤15:30-16:30

小紋の型紙を使用して、糊状の発泡バインダーを型置きし蒸気をあてるとふくらむ「ももこ型染体験」。ショッピングバッグまたはA4バッグの素材に、お好きな柄を数種から選びいただき染めます。発泡バインダーを使った体験は、他にはない体験です。この機会にどうぞご参加ください。



【会場】染の里おちあい(二葉苑)(上落合2-3-6) 【定員】各回6名



【講師】中山 今日子(色押し専門)

大塚テキスタイル専門学校出身で、テキスタイルデザインの会社でネクタイをデザインし、平成22年株式会社二葉に入社。現在は着物の生地への仕入れや染全体の品質管理を担当。

染色～手描友禅～

①11月27日(日) 13:00-17:00 / ②11月28日(月) 13:00-17:00

数種類の中から絵柄を選んで彩色を施し、オリジナルの「半襟(はんえり)」を作成。筆などを使い、絵を描くように染めていきます。



【会場】東京手描友禅工房 協美(下落合4-6-17)
【定員】各日15名



【講師】大澤 学(東京手描友禅染伝統工芸士)

新宿区落合に生まれる。伝統工芸士・倉谷憲明氏と水墨画家・井原俊山氏に師事。1990年より父・大澤敏氏の工房にて、繊細さと正確さを要求される友禅の技術と感性を研鑽。本格的な手描友禅染や蠟燭染などを得意とする工房では、作品製作のほか友禅体験教室や着付け教室・工房見学会を実施し、東京手描友禅の普及に携わっている。新宿染色協議会常任幹事。東京都工芸染色協同組合副理事長。東京手描友禅染伝統工芸士。

雅楽～千年の響きに触れる～

11月29日(火) ①15:00-16:30/②18:30-20:00

雅楽は平安時代より宮中の儀式に用いられ、1000年以上の歴史をもつ日本の伝統芸能です。今回のプログラムでは、「越天楽」他、代表的な曲の鑑賞や、打楽器や舞の体験を行います。



【会場】芸能花伝舎(西新宿6-12-30)
【定員】各回15名



【講師】伶楽舎

雅楽の合奏研究を目的として、1985年に芝祐晴が創設し、長らく音楽監督を務めた雅楽演奏団体。現音楽監督・宮田まゆみ。発足以来、現行の雅楽古典曲以外に、廃絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏にも積極的に取り組み、国内外で幅広い活動を展開している。また、解説を交えた親しみやすいコンサートを企画し、雅楽への理解と普及にも努め、中高校生を対象としたワークショップ、レクチャーコンサートなどの教育プログラムも多く行っている。

申込方法

申込締切 **10月21日(金)必着**

申込方法 下記の必要事項を記入の上、「はがき」または「FAX」でお申し込みください。

【必要事項】 ①参加者氏名(ふりがな) ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④希望プログラム名 ⑤希望日時

【注意事項】 ※プログラムの対象は16歳以上です。※1人1プログラムにつき100円(保険料等)の参加費がかかります。当日各会場でお支払いください。当日つり銭が出ないよう、あらかじめ100円をご用意ください。※応募者多数の場合は抽選となります。※区外の方もお申込みいただけますが、抽選となった場合は区民優先となります。※ご応募いただいた方には後日抽選結果等を全員に通知いたします。※定員に満たないプログラムは、締め切り日以降も募集いたします。10月21日以降もお気軽にお問い合わせください。

お申込み・お問合せ

新宿区文化観光産業部 文化観光課

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-5-1

FAX.03-3209-1500

【お問合せ】 TEL.03-5273-4069